

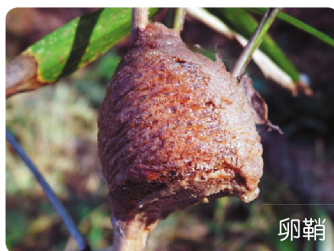
## ● カマキリの仲間

肉食性で他の昆虫などを捕らえて食べるため、前足は獲物を捕らえるのに特化している。体色は緑色型と褐色型がある。産卵は秋で、泡を出しながら、その中に卵を産みつける。泡が固まったものは卵鞘(らんしょう)と呼ばれる。



### オオカマキリ

カマキリ科 体長 70 ~ 95mm



最も大型のカマキリで、数も最も多く、冬には木の枝についた卵鞘がよく見られる。



### ハラビロカマキリ

カマキリ科 体長 50 ~ 70mm



オオカマキリに似るが、前翅の中ほどの体側部にだ円形の白い斑紋がある。



### コカマキリ

カマキリ科 体長 40 ~ 65mm



通常は褐色型で、緑色型は珍しい。前足の内側に黒と白の斑紋がある。卵鞘は樹木や石の隙間などの見えにくい場所に産みつける。

## ● ナナフシの仲間



### ナナフシモドキ

ナナフシ科 体長 70 ~ 100mm

ナナフシの仲間で見にするのは、ほとんどが本種。広葉樹の葉を食べる。触角が短い。